

国際 国内 政治 経済 環境 気候変動 カーボンニュートラル 水素 テクノロジー インフラ 水 AI 中小企業 オピニオン



プロジェクトのメインとなる新国際空港は2026年開港の予定。(NSW州政府公表資料から)

西シドニー「新国際空港都市」建設着手へ

オーストラリアのニューサウスウェールズ(NSW)州が事業を進めているシドニー都市圏の西側に新たな核となる「エアロロポリス」(新都市開発)づくりが実行段階に入った。UR都市機構が全体計画のマスタープランづくりに協力しており、先行開発地区の「ブラッドフィールドシティセンター」(約100ha)の開発に関する協力の文書署名を今年2月に交換。また、同シティセンターの開発を担当するWPCA(ウェスタン・パークランド・シティ公社)からマスタープランの全容が明らかにされ、事業参入を希望する世界各国から現地入りした企業グループに、年内入札に向けた説明会が開かれた。世界に類を見ない空港を核とした新都市建設がいよいよ着手される。

豪「エアロロポリス構想」実行段階に

エアロロポリス構想は、2018年3月に発表された「シドニー3大都市圏」の一環として進められ、2018年3月にWPCAから発表された。オーストラリア最大の人口を有するシドニーがあるニューサウスウェールズ(NSW)州に建設される空港を核にした新都市開発だ。シドニー西部にあるバジェリーズ・クリークに2026年に開港する西

シドニー新国際空港周辺に、約1万1200haの広さで計画されている。

現在、シドニーへの人口集中は顕著であり、道路渋滞や電車の混雑など都市問題が生じている。しかもインフラの不足や住宅価格の高騰などの背景から、NSW州政府はシドニー中心部への一極集中を

解消するため3大都市圏構想を打ち立て、2036年までに整備を完了させる予定だ。

エアロロポリス構想の中核事業の西シドニー空港へのアクセスを向上させるため鉄道の新設と延長、高速道路の新設も計画されている。鉄道はシドニーと新国際空港を結ぶ「シドニーウェストメトロ線」など、既存都市とつながる新たな鉄道路線を3つ整備する予定で、総事業費は300億豪ドル(約2兆2500億円)と試算されている。

アジア経済新聞

■発行日:5・15・25日 旬刊(土日は翌月曜日、祝祭日は翌日発行)

■ページ建て:6~8ページ

■ジャンル:国際(主にアジア) 国内 政治 経済 金融 環境 気候変動 クリーンエネルギー 建設 鉄鋼 製造 通信 スマートシティ 住宅・不動産 物流 テクノロジー 先端技術 外務省、国土交通省、経済産業省、環境省、国際協力機構(JICA)、ジェトロ、経済団体 オピニオン

■購読料:20,000円(年間)消費税込み

■発行元:一般社団法人海外インフラ研究協会/アジア経済新聞

東京都港区北青山2-7-20 猪瀬ビル2F 電話:080-4830-3330

代表理事 磯部猛也

■アジア経済新聞:編集責任者 千原直行

E-mail:chihara.naoyuki@gmail.com

■提携誌:東海財界(月刊)

愛知県名古屋市東区代官町 40-18 ALA 代官町ビル5F

代表取締役・塚本隆氏

TEL052-979-2003



Monthly Report

WITHコロナの時代をどう生き残るか
「ほかでやらないことをやる」の気概を

中日本興業 服部 徹社長に聞く

名古屋テレビ塔 大澤 和宏社長

中部電力 MIRAI TOWER
鉄塔として初の国重要文化財に指定

楊炯・駐名古屋総領事が特別寄稿

着任 4 カ月「名古屋に親近感」
「中部地域への投資を推進」

連載 Series 信用調査会社の目

23年 廃業でなく倒産が増える?
さらなるコロナ禍支援は正解か

第12巻 通巻132号 2023

新年号

定価750円